

平成26年度 予算

一般会計115億9,100万円

平成26年度の豊前市予算は「施政方針」(2～4ページ)で紹介しました事業の推進をめざしています。

今後の国の動向、社会情勢等に注意し、厳しい財政事情の中、これまで以上に効率的な運営や経費の節減を考えていきます。

平成26年度の予算額は、一般会計が115億9,100万円で対前年度比0.8%増、特別会計等を含む総額では、185億416万円で同5.4%増となっています。

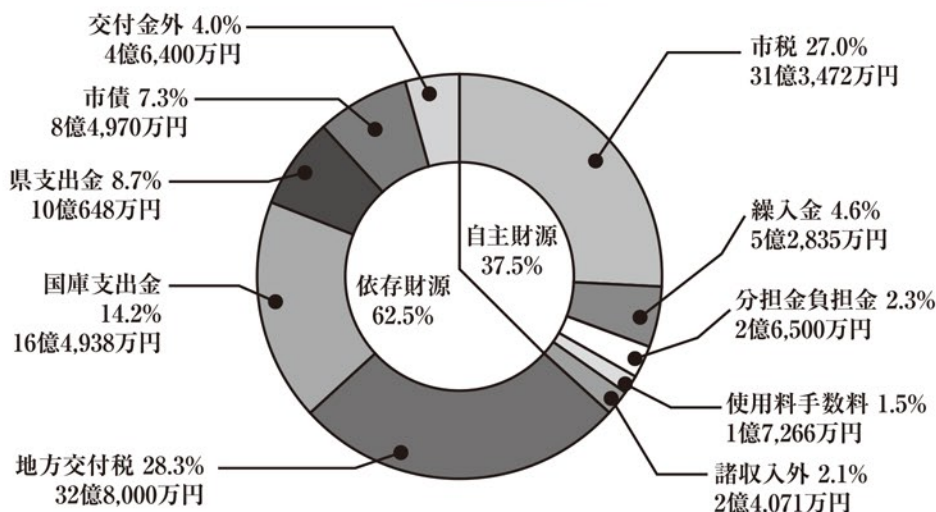
全会計予算額

(単位:万円、%)

区 分		26年度	25年度	増 減	伸 率	
一 般 会 計		115億9,100	115億0,130	8,970	0.8	
特別会計	国民健康保険事業	39億8,495	40億4,669	△6,174	△1.5	
	後期高齢者医療事業	4億4,966	4億3,596	1,370	3.1	
	住宅新築資金等貸付事業	70	105	△34	△32.8	
	市営駐車場事業	860	1,010	△150	△14.9	
	バス事業	3,628	3,510	119	3.4	
	工業用地造成事業	5億7,315	363	5億6,952	15,698.0	
企業会計	水道事業	7億3,176	6億7,442	5,734	8.5	
	東部地区工業用水道事業	2,637	2,250	387	17.2	
	下水道事業	公共下水道事業	10億5,461	7億7,137	2億8,324	36.7
		農業集落排水施設事業	4,708	4,779	△71	△1.5
総 額		185億0,416	175億4,989	9億5,427	5.4	

※表示単位未満は四捨五入のため、計算式に一致しない箇所があります。

歳入予算の内訳



歳入 市税は固定資産税が償却資産等の増加により3,085万円の増、市民税が法人税の減少により2,911万円の減、全体では対前年度比0.1%(364万円)の増収を見込んでいます。
地方交付税は1.1%(3,500万円)の減、国庫支出金は4.2%(6,650万円)の増、市債は総額で2.9%(2,400万円)の増となりました。

一般会計予算の概要

歳出 義務的経費については人件費が4.9%(8,314万円)の増、扶助費が生活保護費等の減のため0.8%(2,336万円)の減、公債費が3.9%(5,217万円)の減となりました。

投資的経費については、水産振興施設整備事業や公民館太陽光発電施設設置事業の増等により、3.6%(3,859万円)の増となりました。

予算用語解説

自主財源と依存財源

歳入(収入)でよく使われるのが「自主財源」と「依存財源」です。

自主財源は、市税のように市が自主的に調達できる財源です。

依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源です。

自主財源の比率が大きいほど行政の自主性が確保されます。

性質別分類と目的別分類

歳出(支出)の見方として予算を使う性質ごとに分類した「性質別分類」と使う目的ごとに分類した「目的別分類」の二つがあります。

性質別分類は、市の財政運営や経済的機能状況を知ることができます。

目的別分類は、どのような事業にいくら使うかを知ることができます。

歳出予算の内訳

■ 性質別歳出分類

義務的経費 (52.3%)			投資的経費 (9.5%)	その他の経費 (38.2%)		
<p>扶助費 29億8,501万円 (25.7%)</p> <p>高齢者、障害者、児童、生活保護者の方を援助するために使います。</p>	<p>人件費 17億8,046万円 (15.4%)</p> <p>市長、市職員等の給与退職金、議員・各種委員の報酬などに使います。</p>	<p>公債費 12億9,448万円 (11.2%)</p> <p>市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。</p>	<p>普通建設事業費等 11億368万円 (9.5%)</p> <p>道路、公園、学校など、将来に残る施設を建設するために使います。</p>	<p>補助費等 17億2,089万円 (14.8%)</p> <p>一部事務組合負担金や各種団体への補助金などに使います。</p>	<p>物件費 13億5,749万円 (11.7%)</p> <p>電算の委託料や光熱水費等に使います。</p>	<p>繰出金 11億7,683万円 (10.2%)</p> <p>国民健康保険事業会計等の他会計を補助するために使います。</p>

投資出資及び貸付金、維持補修費、積立金など
1億7,215万円 (1.5%)

■ 目的別歳出分類

<p>民生費 48億1,435万円 (41.5%)</p> <p>高齢者、障害者、児童、生活保護者の方の社会福祉事業のために使います。</p>	<p>公債費 12億9,448万円 (11.2%)</p> <p>市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。</p>	<p>土木費 11億426万円 (9.5%)</p> <p>道路、橋、公園、市営住宅などの維持管理、整備のために使います。</p>	<p>総務費 10億2,090万円 (8.8%)</p> <p>市役所の一般的な事務経費や選挙などに使います。</p>	<p>教育費 9億7,019万円 (8.4%)</p> <p>小・中学校などの維持管理等に使います。</p>	<p>衛生費 8億3,275万円 (7.2%)</p> <p>ごみ、し尿処理、保健衛生などに使います。</p>	<p>議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など 9億1,505万円 (7.9%)</p>
--	--	--	--	---	--	--

農林水産業費
6億3,902万円 (5.5%)

平成26年度予算の主な事業

第5次豊前市総合計画の着実な実現に向け、26年度に取り組む主な事業とその予算額の一部を紹介します。

◎安全・安心なまちづくり

市民の生命・財産を守るべく災害対策の強化に努めます

防火水槽整備事業

事業費 1,770万円

水利のない地域に防火水槽を設置し、初期消火活動の確保と、地域の防災力向上を図ります(総務課)

小中学校屋内運動場改修工事設計事業

事業費 800万円

小中学校の体育館の天井と照明器具を改修し、児童・生徒の安全・安心を図ります(学校教育課)

公民館太陽光発電施設設置事業

事業費 5,820万円

角田、三毛門、合河の3公民館に太陽光発電施設を設置します(生涯学習課)

◎都市基盤の整備

インフラ整備を図り、暮らしやすいまちを創出します

上町～沓川池線街路事業

事業費 2億2,106万円

上町～沓川池線の整備を継続し、早期の全線開通を目指します(まちづくり課)

公園施設改修事業(25年度3月補正)

事業費 1,900万円

天地山公園の遊具の整備を実施します(まちづくり課)

◎健康・福祉の充実

誰もが健康で幸せに暮らせる元気なまちづくりを目指します

臨時福祉給付金等給付事業

事業費 1億1,580万円

消費税率の引き上げに伴う負担軽減のため、市民税均等割の非課税者及び子育て世帯へ給付金を支給します(福祉課)

(包括的支援)相談等受付事業

事業費 424万円

高齢者やその家族の、夜間の相談体制を強化するため、相談業務委託先を増やし、夜間でも専門職による健康相談等を受けられるようにします(福祉課)

◎産業の振興

観光拠点の整備、地産地消の取り組み、企業誘致により産業の振興に努めます

水産振興施設整備事業

事業費 1億6,836万円

直売施設、加工施設、食堂等を整備します。豊前海の新鮮な魚介類を市内外にアピールし、水産業の振興を図ります(農林水産課)

観光案内板整備事業

事業費 4,500万円

平成27年3月に予定される東九州自動車道開通に伴い、インターチェンジから市内観光地への誘導をスムーズにするため、案内板を設置します(まちづくり課)

◎ぶぜん未来応援プラン

人口の流出を抑制し定住化を促進していくとともに、未来を担う子どもの健全な育成を支援します

第3子以降幼稚園就園支援事業

事業費 139万円

戸籍上、第3子以降の園児の保育料を補助し、保護者の経済的負担を軽減します(学校教育課)

教育力向上事業

事業費 520万円

合岩小学校に英語専科教員を配置し、英語教育の充実を図り、合岩小・中学校が連携し、一貫した特色ある教育を行います(学校教育課)

放課後児童クラブ開設時間延長事業

事業費 209万円

保護者の勤務時間に対応するため、開設時間を延長します(福祉課)

実施継続中の事業

定住促進住宅のリフォーム	(建設課)
新婚家庭家賃助成交付事業	(総合政策課)
不妊治療費の助成	(市民健康課)
乳幼児・こども医療費支給事業	(//)
知育絵本プレゼント事業	(//)
第3子以降保育料無料化事業	(福祉課)
病後児保育事業・子育て支援センター	(//)
学び支援事業	(学校教育課)
子ども文化事業	(生涯学習課)
子ども夢応援事業	(//)